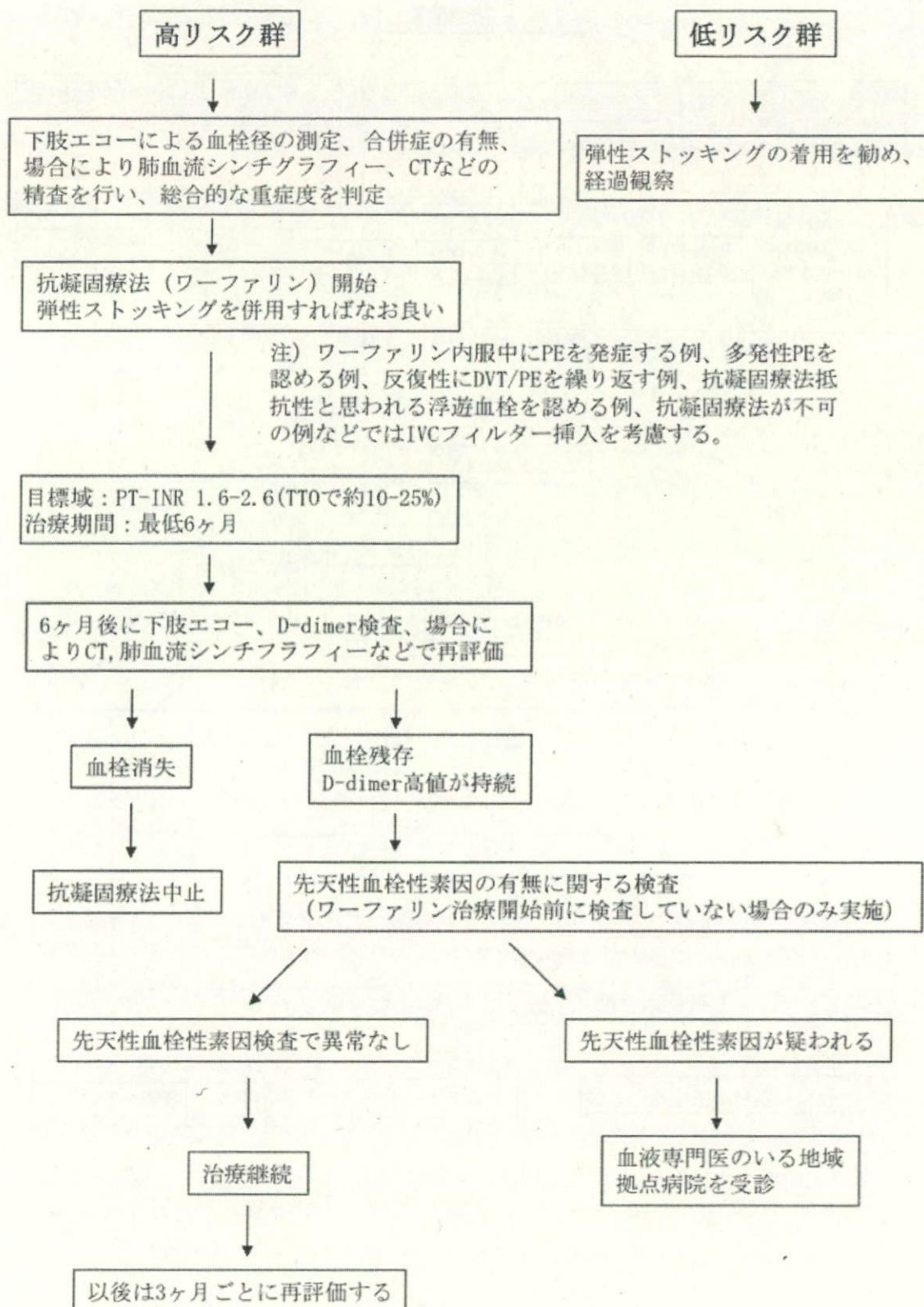


図4 DVT/PEの治療指針



### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

#### 1. 論文発表

- ・ 須藤紀子、吉池信男. 県型保健所管内市町村における災害時の栄養・食生活支援に対する準備状況. 栄養学雑誌, 66, 31-37 (2008)
- ・ 須藤紀子、吉池信男. 災害対策における行政栄養士の役割. 保健医療科学, 57, 220-224 (2008)
- ・ 榛沢和彦特集「深部静脈血栓症」新潟県中越地震における肺塞栓症と深部静脈血栓症—災害避難生活を考える ASAHI medical 2008 4月号 58-61
- ・ 榛沢和彦「新潟県中越地震被災者のエコノミークラス症候群(DVT/PE)予防検査活動報告」新潟県中越沖地震医療支援活動報告書 p84-86, 2008
- ・ 榛沢和彦「中越沖地震におけるDVT頻度」Therapeutic Research 29(5);641-643, 2008
- ・ 榛沢和彦「震災時の深部静脈血栓塞栓症」目で見える超音波、Neurosonology 2008, 21(1): 4-5)

#### 2. 学会発表

- ・ 宮崎美砂子, 奥田博子, 牛尾裕子, 春山早苗, 森下安子, 藤谷明子, 岩瀬靖子, 田村須賀子: 被災時に必要な保健師マンパワー算定基準の試案作成(第2報). 第67回日公衛会抄録集, 55(10)特, 320, 2008.
- ・ 佐藤弘樹、櫻井 裕: 天然痘バイオテロへの公衆衛生対策の有効性に関する検討 第19回日本疫学会学術総会 金沢 2009年1月23-24日

■資料編 (事例検討 講演集)

---



◆研究会概要

開催日	2008年11月13日(木)	
開催時間	13:00~15:00	
開催場所	(株)三菱総合研究所 大会議室	
講演次第		
中山 鋼 氏	2008年における自然災害と保健活動 「平成20年岩手・宮城内陸地震おける 医療救護・保健活動の概要」	
野村 暢郎 氏 澤口 眞規子 氏 奥寺 三枝子 氏	2008年における自然災害と保健活動 「岩手・宮城内陸地震における奥州保健所の対応について」	
橋本 功 氏 水車 榮子 氏	2008年における自然災害と保健活動 「平成20年岩手・宮城内陸地震災害の対応」	
出席者		
主任研究者	大井田 隆	日本大学医学部 社会医学講座 公衆衛生学部門 教授
分担研究者	木下 浩作	日本大学医学部 救急医学講座 准教授
分担研究者	須藤 紀子	国立保健医療科学院 生涯保健部 主任研究官
分担研究者	田畑 好基	三重県 伊勢保健所 所長
分担研究者	宮崎 美砂子	千葉大学看護学部 地域看護学教育研究分野 教授
分担研究者	榛沢 和彦	新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環器外科学分野 助教
分担研究者	伊倉 真衣子	新潟大学教育研究院医歯学系 呼吸循環外科学 研究生
研究協力者	中山 鋼	宮城県 医療健康局長
研究協力者	野村 暢郎	岩手県 県南広域振興局 保健福祉環境技監 奥州保健所 所長
研究協力者	澤口 眞規子	岩手県 県南広域振興局 保健福祉環境部 奥州保健所 保健衛生課 健康推進総括主任主査
研究協力者	奥寺 三枝子	岩手県 県南広域振興局 保健福祉環境部 奥州保健所 保健衛生課 感染症・精神保健チーム 総括主任主査
研究協力者	橋本 功	岩手県 一関保健所 所長
研究協力者	水車 榮子	岩手県 一関保健所 保健課 上席保健師
厚生労働省	清水 昌毅	厚生労働省 健康局総務課 地域保健室 補佐

研究会 講演 1

2008 年における自然災害と保健活動  
「平成 20 年岩手・宮城内陸地震における  
医療救護・保健活動の概要」

中山 鋼（宮城県庁医療健康局長）

2008 年 11 月 13 日（木）

## 平成20年岩手・宮城内陸地震における 医療救護・保健活動の概要

宮城県医療健康局長 中山 鋼

### 1 地震の概況

- 発生日時 平成20年6月14日(土)8時43分頃
- 震央地名 岩手県内陸南部(北緯39.0度東経140.9度)
- 震央の深さ 約8km
- 地震の規模 マグニチュード7.2
- 各地の震度
  - 震度6強: 栗原市一迫、岩手県奥州市
  - 震度6弱: 栗原市栗駒、築館、大崎市古川ほか
  - 震度5強: 登米市迫町、仙台市宮城野区、若林区
  - 震度5弱: 仙台市青葉区、宮城野区、泉区ほか



## 2 人的被害の状況（7月22日現在）

### ■ 死亡者 10人

- 土砂崩れ車両生き埋め 1人
- 工事現場土砂崩れ生き埋め 3人
- 旅館土砂崩れ生き埋め 5人
- 書籍崩れによる呼吸困難 1人(仙台市)

### ■ 行方不明者 8人

### ■ 負傷者 389人

(重症63人、軽傷326人)

## 3 宮城県の保健医療関係の対応—情報収集と調整—

### ■ 14日(土)

- 08:43 ・ 宮城県災害対策本部設置  
(7月1日 災害復旧対策本部へ移行)
- 09:20~ ・ 病院の被災状況、受診者の状況等の情報収集 特に、  
栗原市・大崎市立病院については定期的に確認、情報  
交換
  - 厚労省とDMAT派遣について調整、被災状況等につ  
いて情報交換
- 10:53 ・ 厚労省の指導を受け、山形県のDMAT2チームの派  
遣要請(県内全域の被害状況が不透明だったため、県  
内チームへの要請は留保)

医療救護と健康相談の体制作りのため、以下のとおり、  
情報収集と調整業務を担当

## —医療救護体制—

- 災害派遣医療チーム(DMAT)
- 救護所の対応

## ◆災害派遣医療チーム(DMAT)

- 14日
  - 10:53
    - 厚労省の指導を受け、山形県のDMAT2チームの派遣要請
  - 13:30確認
    - 活動拠点を当初の大崎市民病院から栗原中央病院に移動
  - 18:40確認
    - 栗原中央病院に28チームが集結したが、ドクターヘリ2機を含む5チームが撤収し、残り23チームが3箇所に分かれて活動  
(花山診療所 3チーム、栗駒みちのく伝創館 2チーム、栗原中央病院 4チーム)



### ◆災害派遣医療チーム(DMAT)

#### ■ 15日

08:15確認

- 08:30に栗原中央病院に23チームが集合し協議
- DMATを必要とする医療需要が今後予想されないため23チームのうち20チームが撤収する。
- 県内の3チームが花山地区で巡回診療に当たる。  
(仙台医療センター, 仙台日赤, 石巻日赤)

#### ■ 16日

08:30確認

- すべてのチーム撤収確認

### ◆ 救護所の対応

花山:石楠花(しゃくなげ)センター

#### ■ 14日

17:35確認

- 花山の避難所(石楠花(しゃくなげ)センター)にdERUが配置10名  
(医師2名, 看護師3名, 薬剤師1名, 医療ボランティア4名)

#### ■ 15日

13:30

- 栗原市医療局から県へ, 花山地区に設置する避難所への医師, 看護師の派遣要請

13:50

- 県から日本赤十字社宮城県支部に医師, 看護師の花山の避難所への派遣を要請

### ◆ 救護所の対応

#### 花山:石楠花(しゃくなげ)センター

##### ■ 16日

- 救護活動の状況について栗原市と意見交換の上、必要医師等の確保に向けて調整  
山形, 福島, 秋田, 青森, 宮城のチームが交代で活動

##### ■ 22日

9:00確認

- 日赤撤収→代わって自衛隊医療チームが対応

### ◆ 救護所の対応

#### 栗駒:みちのく伝創館

##### ■ 17日確認

- 栗原中央病院で、医師による健康相談を実施すべく準備  
(県立循環器・呼吸器病センター, 登米市立病院の応援)

##### ■ 19日確認

- 栗原中央病院と地元医師ほかの協力により救護所開設  
(~7月20日)

### 一被災者への健康相談活動一

#### ■ 健康相談等

#### ■ 心のケア

### ◆被災者への健康相談活動一健康相談等一

#### a) 健康相談等(保健師)

##### ■ 14日16:00確認

- 栗原市の保健師4名, 医師4名(栗原中央病院1名, 徳州会病院3名)が花山の避難所(石楠花(しゃくなげ)センター)に配置

##### ■ 16日12:00

- 栗原市からの要請により, 栗原市災害対策本部金成庁舎に県の保健師1名を派遣

##### ■ 17日～

- 栗原市の要請に基づき, 22市町村の協力を得て, 保健師が, 栗駒, 花山地区で, 健康相談・個別家庭訪問を予定

(a)避難所は2カ所(花山石楠花(しゃくなげ)センター, 栗駒みちのく伝創館)

(b)家庭訪問は全戸(花山397世帯, 栗駒847世帯)

- 全戸訪問期間中は1日当たり保健師60人規模(その他事務補助20人程度)



◆ 被災者への健康相談活動—健康相談等—

a) 健康相談等(保健師)

■ 21日～

- 市からの要請に応じ、宮城県看護協会が看護師を派遣（県調整）
  - 花山(石楠花(しゃくなげ)センター): 夜間2名
  - 栗駒(みちのく伝創館): 夜間1名

◆ 被災者への健康相談活動—健康相談等—

b) 栄養指導(管理栄養士)

■ 16日

- 管理栄養士については、市と県栗原地域事務所の栄養士で当面对応する。

■ 20日

- 栗原市からの要請で21日～県の管理栄養士2名を花山、栗駒の避難所へ派遣

◆ 被災者への健康相談活動—健康相談等—

c) 生活不活発病予防等(OT, PT)

- 18日
  - 県のリハ専門職(理学療法士, 作業療法士)を派遣決定
- 24日～
  - 1名を花山:石楠花(しゃくなげ)センターに派遣  
(週2回 火曜日, 木曜日)

◆ 被災者への健康相談活動—健康相談等—

d) 口腔ケア(歯科医師)

- 18日
  - 県歯科医師会が避難所で巡回診療  
(1チーム 歯科医師2名, 歯科衛生士3名)
    - 花山:石楠花(しゃくなげ)センター 39名受診 5名治療
    - 栗駒:みちのく伝創館 13名受診 1名治療

### ◆ 被災者への健康相談活動—健康相談等—

#### e) エコノミークラス症候群

##### ■ 14日

17:15

- 県の指導により、栗原市の保健師が避難所住民に対してエコノミークラス症候群の予防を周知

##### ■ 20日

- 新潟大学病院、福井大学の医師チームが2避難所でエコノミークラス症候群の検査実施

20日～7月5日のうち6日間

栗駒みちのく伝創館と花山石楠花(しゃくなげ)センター

### ◆ 被災者への健康相談活動—心のケア—

#### a) 精神科医(精神保健福祉センター、県立精神医療センター)

##### ■ 15日 09:00

- 厚労省精神障害保健課から医師1人、保健師2人が14時30分頃仙台着  
東北厚生局の案内で現地入り栗原市金成庁舎へ。16日撤収

##### ■ 16日

- 栗原市から心のケア対応チームの派遣要請があり、県精神保健福祉センターを中心に、県立精神医療センターの支援を得て、派遣を決定
- 2チーム編成(医師1名、心理2名、保健師・看護等4名の合計7名)で構成
- 派遣先は「花山石楠花(しゃくなげ)センター」と「栗駒みちのく伝創館」

##### ■ 17日～

- 2チーム7人が2カ所の避難所で活動中



◆ 被災者への健康相談活動—心のケア—

b) 児童心理司(北部児童相談所等)

- 16日
  - 児童の心のケアについて、栗原市からの要請により、北部児相から心理職2名を「栗駒：みちのく伝承館」、  
「支援依頼のあった家庭(2件)」へ派遣
- 18日
  - 一迫町の1、2歳児のケアに児童心理司1名派遣
- 19日
  - 3歳児のケアに北部児相で家庭訪問。心のケアパンフ  
レット約8,000を配付
- 23日～
  - 栗原管内の保育所(14カ所)と幼稚園(3カ所)を訪問し、  
職員の園児対応を支援

◆ 被災者への健康相談活動—心のケア—

c) 行方不明者家族の心のケア

- 21日
  - 県警カウンセラーを2避難所に派遣し相談所を開設
    - 花山石楠花(しゃくなげ)センター
    - 栗駒みちのく伝創館

◆ 被災者への健康相談活動—心のケア—

d) その他電話相談等

- 20日
  - (社)日本産業カウンセラー協会東北支部が電話相談  
～7/18まで
- 27日
  - 日本精神衛生学会が「心の相談緊急電話」  
～7/31までの金、土曜日

## 研究会 講演 2

# 2008 年における自然災害と保健活動 「岩手・宮城内陸地震における 奥州保健所の対応について」

岩手県 県南広域振興局保健福祉環境部 奥州保健所

野村 暢郎 (保健福祉環境技監・奥州保健所所長)  
澤口 眞規子 (奥州保健所保健衛生課健康推進総括主任主査)  
奥寺 三枝子 (奥州保健所保健衛生課感染症・精神保健チーム総括主任主査)

2008 年 11 月 13 日 (木)



「岩手・宮城内陸地震における奥州保健所の対応について」(岩手県 県南広域振興局)

野村 暢郎 氏 (保健福祉環境技監奥州保健所 所長)

澤口 眞規子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課健康推進総括主任主査)

奥寺 三枝子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課感染症・精神保健チーム総括主任主査)

## 岩手・宮城内陸地震における 奥州保健所の対応について

災害・重大健康危機の発生時・発生後の対応体制  
及び健康被害抑止策に関する研究 第1回研究会議

岩手県奥州保健所

岩手・宮城で大地震  
震度6強、M7.2

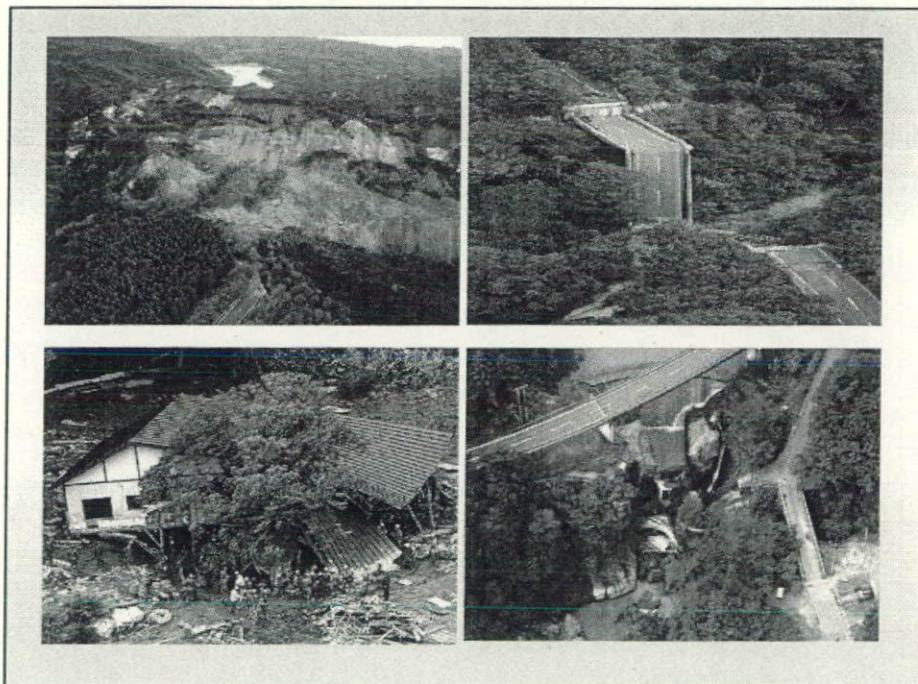
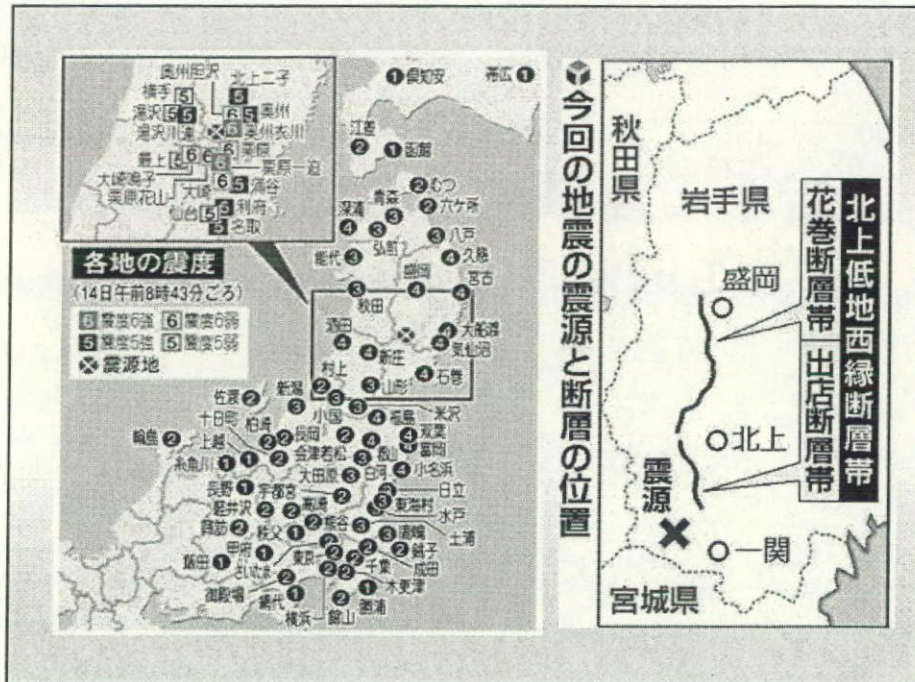


「岩手・宮城内陸地震における奥州保健所の対応について」 (岩手県 県南広域振興局)

野村 暢郎 氏 (保健福祉環境技監奥州保健所 所長)

澤口 眞規子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課健康推進総括主任主査)

奥寺 三枝子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課感染症・精神保健チーム総括主任主査)





「岩手・宮城内陸地震における奥州保健所の対応について」 (岩手県 県南広域振興局)

野村 暢郎 氏 (保健福祉環境技監奥州保健所 所長)

澤口 眞規子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課健康推進総括主任主査)

奥寺 三枝子氏 (保健福祉環境部奥州保健所保健衛生課感染症・精神保健チーム総括主任主査)

